

# 令和3年度 坂町議会 議会評価

評価期間

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

評価日

令和4年3月31日

評価の分類

◎：「よくできた」 ○：「できた」 △：「努力が必要」 ×：「ほとんどできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
1. 議会運営委員会 ・円滑な議会運営 ・議会改革の推進 ・適正な請願および陳情の処理	◎	コロナ禍の中ではあったが、年間を通し、感染防止対策を徹底し、18回開催し、議会改革の推進、適正な請願および陳情の処理を行い、円滑な議会運営に努めた。	コロナ禍により、議会改革、議会運営の先進地への視察研修が行えなかった。
2. 常任委員会（総務厚生） ・所管に関する町政の主な動きや課題について調査を行う	○	所管に関する問題課題については、適正に調査質問ができた。	災害復旧工事・コロナ禍と課題が山積だが今後も臆することなく取り組みたい。
3. 常任委員会（産業文教） ・所管に関する町政の主な動きや課題について調査を行う	○	災害公営住宅の町営住宅化に伴う入居者状況の変化や、修繕されたポンプ場の現地視察及び管理状況の確認、県道坂小屋浦線道路及び街路事業の進捗状況、文化財案内看板と案内冊子について、委員全体で理解を深め新たな課題発見、行政側への提案など、活発な調査活動を行うことができた。	新型コロナウイルス感染症対策の対応などで開催日時などが負担とならないよう、次年度はさらに行政との連携を強め、より町民の利益となる活動を進めていきたい。
4. 特別委員会（議会広報調査） ・みやすい広報の作成 ・議会の正確な情報発信に努める	○	・議会だより第156号～第159号の年4回発行で、オールカラー印刷を増やし見やすい広報に努めた。 ・議会アンケートへの協力とアンケート結果概要報告を掲載 ・「まちが変わる」では道路整備状況、「学校が変わる」では防災教育・デジタル化などの生の情報を提供 ・小学生による議会傍聴ができなかったため、編集でインタビューの大学生の傍聴記、イラスト作成など協力を得た。	・年4回発行であるが、記事内容が毎年同じ内容であり、町民に関心ある特集記事などは増ページの必要 ・議会アンケートの結果と今後の取り組みの広報の在り方 ・各号に知りたい、伝えたい情報をタイムリーに提供する。 ・小学生の議場での傍聴はコロナ禍でできないが、ライブ中継を活用しての傍聴を検討
5. 特別委員会（災害復旧・復興対策調査） ・復旧・復興状況の早期把握に努める ・新たな防災、災害時の対応を学ぶ	◎	建設中の砂防ダム現地視察や道路、橋梁などの復旧工事の進捗状況を早期に確認した。 災害時の被災地におけるドローンの活用やいざというときに役立つマイ・タイムラインの作成方法など専門家を招いて学習した。	コロナ禍のなか、地域支えあいセンターなどの状況などを確認するため現地へ出向くことが困難であった。
6. 特別委員会（地方創生推進） ・坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく地方創生への課題や進捗状況を確認する	○	6月 国が示す「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」を踏まえ、今後は情報通信技術（ICT）を活用し、行政課題や地域課題の解決を推進していくことを確認。学校においては、既に活用されている。 1月「空き家活用事業」空き家の可能性 見える化プロジェクトの実施状況については、空き家所有者221件のうち、57件の申し込みがあり、調査を実施。今後、所有者にレポートの提出、アンケートの回答を依頼していくことで、空き家の解消に繋がると期待が持てる。	ICTについては、今後の推進を注視していきたい。 空き家活用事業の最終結果が利活用に繋がるような報告に期待。 豪雨災害以降の人口推移等にも取り組み、分析をしなければならぬ。

## 令和3年度議会活動実績

令和3年4月1日～令和4年3月31日

会 議 名	開会回数（日数）
議会定例会	4回（10日）
議会臨時会	8回
全員協議会	23回
議会運営委員会	18回
総務厚生委員会	5回
産業文教委員会	5回
議会広報調査特別委員会	28日
災害復旧・復興対策調査特別委員会	5回
地方創生推進特別委員会	2回
予算審査特別委員会	1回（2日）
決算審査特別委員会	1回（2日）